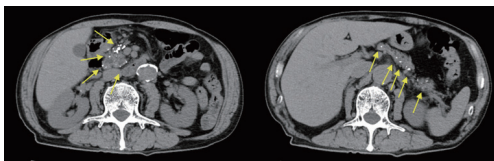


CT、MRIでは見えない膵臓がんの早期発見を実現するCT・MRI診断

医師向け講演会を開催します。

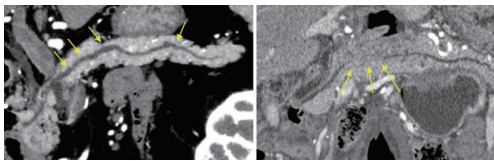
膵臓がんの画像上の危険因子

① 膵石灰化(慢性膵炎・膵石)

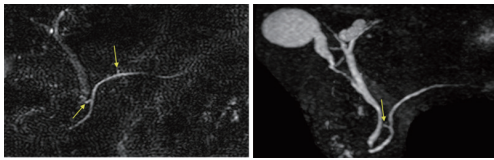


超高精細CT (非造影)

② 主膵管及び分枝膵管拡張等

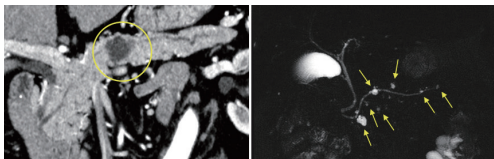


超高精細CT (造影) CPR



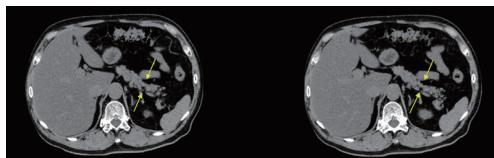
3T MRI (MRCP:非造影) 3T MRI (MRCP:非造影) cutting MIP

③ 膵嚢胞

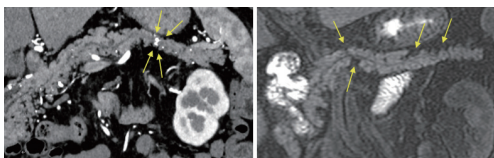


超高精細CT (造影) CPR 3T MRI (MRCP:非造影) MIP

④ 膵萎縮



超高精細CT (非造影)



超高精細CT (造影) CPR 3T MRI (MRCP) CPR

AIC八重洲クリニックは、来る10月30日、東京都文京区のホテル東京ガーデンパレスにて、医師向け講演会を開催します。

膵臓がんは罹患5年後の生存率が10%に満たないがんであり、一般的には早期発見とされるStage Iでも、5年後に約60%の方は生きていられない「がん」です。

CT、MRI検査では、Stage 0の膵臓がんは同定することが出来ませんが、当院では膵臓がん自体を追うのではなく、膵臓がんの危険因子を追いかけることで、膵臓がんをStage 0で拾い上げる取り組みを行っており、これについて講演会を行います。

この取り組みは、癌研有明で長年画像診断を行って来た当院理事長兼院長の澤野誠志の長年の研究テーマであり、実際の膵臓がん罹患患者の膵臓がん発見前の画像データの解析により導き出されています。また、当院で定めた画像診断における危険因子の多くは、日本膵臓学会で近年注目されている早期膵臓がん診断の画像診断の内容と合致しています。

同日、東京医科歯科大学の膵臓外科医である伴先生に、治療がしづらい膵臓がんの外科的治療の実際についてご講演をいただきます。是非ご参加の程お待ちしております。

場所と日時は以下の通りです

場所：ホテル東京ガーデンパレス 2階 高千穂

日時：2019年10月30日 19時～21時

お問い合わせ先：AIC八重洲クリニック

東京都中央区日本橋2-1-18 Yaesu clinic bldg.

TEL：0120-786-055

担当者：木村大輔(事務長) E-mail：kimura@m-satellite.jp